

若い薬学会員、大学院生への日本学術振興会と科学技術振興会からのメッセージ - 科研費、特別研究員、さきがけ研究、戦略的研究を知ろう -

Stimulative Message to Young Researchers and Graduate Students for the Achievement of Competitive Research Grants from JSPS and JST

高畑 廣紀¹, 河野 通明², 川崎 敏祐³ (¹東北薬科大学, ²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科, ³立命館大学糖鎖工学研究センター、JST)

昨年の126年会において「科学研究費等の競争的研究資金の現状と今後」のテーマで、本薬学会会員が自ら学術研究を推進させるために、競争的研究資金獲得に向けた適切な対応を支援することを目的として、競争的研究資金配分機関の日本学術振興会（JSPS）、科学技術振興機構（JST）、文部科学省から現状と今後について解説を受けたところ好評を得た。今後薬学会の中核的役割を果たしていく若い薬学会会員、大学院生が自ら学術研究活動を一層進展するためには、より本制度を理解することが重要である。そこで今回、JSPSならびにJSTで実際に競争的研究資金関連に携わっている薬学会会員の5名の先生方にそれぞれの立場から、近年の傾向、現状、今後の方向性などを具体的（科研費、特別研究員、さきがけ研究、戦略的研究）に説明（メッセージ）いただくことで、若い薬学会会員、大学院生の今後の主体的研究活動の発展に寄与することを目的に本シンポジウムを日本薬学会理事会として企画した。